

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 5 年 12 月 20 日

事業所名 こぼんはうすさくら札幌月寒教室

保護者等数(児童数) 17名(21名) 回収数 15名 割合 88%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13件	0件	0件	2件	見学(通所時)などあればしてみたい。	見学は随時可能としているため、保護者様へ周知し随時対応をしていく。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	13件	0件	0件	2件		
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	10件	0件	1件	4件		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	12件	1件	0件	2件		
適切な支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	14件	1件	0件	0件		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15件	0件	0件	0件		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	13件	1件	0件	1件		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	14件	0件	0件	1件		
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5件	3件	2件	5件		同地区のこぼんはうすさくら他教室との交流イベントの企画や地域イベントへの積極的な参加を行う。
保護者への 説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15件	0件	0件	0件		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	15件	0件	0件	0件		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	6件	3件	0件	6件		家庭でも実施可能な療育プログラムを広報誌などで紹介していく。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	14件	1件	0件	0件		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14件	1件	0件	0件		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	4件	2件	3件	6件		コロナ禍で見送っていた保護者会や交流イベントを行う。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15件	0件	0件	0件		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14件	0件	0件	1件		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	15件	0件	0件	0件		
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	14件	0件	0件	1件			
非常時等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	9件	1件	0件	5件		相談室に設置し閲覧可能な状態であるが、広報誌にてマニュアルの解説などをわかりやすく紹介するなどの検討を行う。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11件	1件	0件	3件		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	15件	0件	0件	0件	楽しみに待っている。	
	23	事業所の支援に満足しているか	15件	0件	0件	0件	満足している。	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5 年 12 月 20日

事業所名 こばんはうすさくら札幌月寒教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	12件	0件		
	2 職員の配置数は適切であるか	9件	3件	欠席の多発などで過剰人員になった際は、運営管理作業を前倒しで行うなど工夫をしている。	通所児童が多い日などに人員が不足する時間帯が出てしまう。役割を明確にし、スムーズな連携を図り、効率良く作業を行う。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	11件	1件		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9件	3件		恒常的に使用しない箇所などの清掃が行き届いていない場合がある。清掃マニュアルの見直しを行い個人に依存しない方法を検討する。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	10件	2件		目の前の作業に追われ、行き当たりばったりなことがある。PDCAサイクルを意識した作業表などに見直しを行い見える化を推進する。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10件	0件		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8件	1件		公開場所などを認識していない職員が一部いる。継続的な教育を実施する。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6件	2件		本部からの指導内容などを認識していない職員が一部いる。継続的な教育を実施する。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	10件	1件		研修記録などを確認していない職員が一部いる。継続的な教育を実施する。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	12件	0件		
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8件	2件	言語面のアセスメントツールを使用している。	アセスメントツールの活用に個人差がある。活用事例などの共有を積極的に行う。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	10件	1件		支援計画を適正に読み取れない職員が一部いる。継続的な教育を実施する。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11件	1件		支援計画を適正に読み取れない職員が一部いる。継続的な教育を実施する。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	8件	1件		活動プログラムの立案ルール等を理解していない職員が一部いる。継続的な教育を実施する。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12件	0件	活動内容がマンネリ化しないよう、毎月新しいプログラムを取り入れる工夫をしている。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	11件	1件		支援計画に基づいた療育支援を行う意識が稀薄な職員が一部いる。継続的な教育を実施する。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9件	3件	役割分担を立候補制にし責任感を持って取り組めるよう工夫をしている。	土日祝日は送迎開始が早く打合せ形式で実施できない場合がある。送迎時間の短縮できるよう効率化を図り、短い時間でも時間確保が出来るよう工夫する。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	12件	0件		
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12件	0件		
20 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11件	0件			
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11件	0件		
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	9件	1件		関係機関との連携情報を確認していない職員が一部いる。継続的な教育を実施する。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3件	6件	該当児童はいない。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	3件	5件	該当児童はいない。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7件	3件		関係機関との連携情報を確認していない職員が一部いる。継続的な教育を実施する。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10件	1件		関係機関との連携情報を確認していない職員が一部いる。継続的な教育を実施する。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7件	3件		関係機関との連携情報を確認していない職員が一部いる。継続的な教育を実施する。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1件	8件		同地区のこぼんはうすさくら他教室との交流イベントの企画や地域イベントへの積極的な参加を行う。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	6件	4件	地域部会へ職員派遣を行っている。	コロナ禍で休止となっていたが、今年度より再開している。継続した職員派遣を行う。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10件	1件		連絡帳の確認や共有情報を把握していない職員が一部いる。継続的な教育を実施する。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5件	4件		家庭でも実施可能な療育プログラムを広報誌などで紹介していく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	10件	0件		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11件	0件		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12件	0件		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1件	9件		コロナ禍で見送っていた保護者会や交流イベントを行う。
非常時等の対応	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	12件	0件		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10件	1件		広報誌の内容を確認していない職員が一部いる。継続的な教育を実施する。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	12件	0件		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12件	0件		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1件	7件		実施可能な方法を継続的に検討していく。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	10件	1件		マニュアルを確認していない職員が一部いる。継続的な教育を実施する。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10件	0件		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	11件	1件	てんかん発作のある児童の発作状況をご家庭、学校と共有している。	共有情報を確認していない職員が一部いる。継続的な教育を実施する。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8件	3件	アレルギー情報をキッチンに掲示間違いが起こらないよう工夫している。	共有情報を確認していない職員が一部いる。継続的な教育を実施する。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12件	0件	安全衛生会議を月1回開催し、事例の分析や対策を検討し、周知を行っている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11件	1件		公開されている研修資料やマニュアルを確認していない職員が一部いる。継続的な教育を実施する。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6件	4件	該当児童はいない。	